



Interim Report

第78期 上半期 株主通信 2021.4.1 - 2021.9.30

2022年3月期 上半期のご報告

八洲電機株式会社

証券コード：3153

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第78期上半期(2021年4月1日から2021年9月30日まで)における営業の概況及び決算の内容等についてご報告申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大防止の観点から緊急事態宣言等が発令され、これらによる経済活動の抑制により、依然として厳しい状況が続いております。各種政策の効果による経済回復や、ワクチン接種促進効果等での感染者数の減少による経済活動の活性化が期待されつつも、サプライチェーン停滞による影響をはじめ、個人消費や雇用情勢の回復が遅れるなど、依然として不透明な状況が続いております。

そのような状況の中、当社は2020年度より取り組んでいる中期経営計画の『高度情報化時代に対応し、社会に貢献する「エンジニアリング会社」として、付加価値の高い技術・サービスを提供し、お客様とともに未来を創る』というビジョンのもと、グループ一体となって成長戦略を実施し、更なる事業規模の拡大と収益力の強化を図ってまいります。

また、当社は2021年8月8日に創立75周年を迎えました。これもひとえに、株主の皆様をはじめ、今日に至るまで当社にお力添えいただいた関係者の皆様からの温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

つきましては、これまでご支援いただきました株主の皆様にご感謝の意を表すとともに、創立75周年を記念いたしまして、2022年3月期の期末配当において、1株当たり2円の記念配当の実施を予定させていただくことといたしました。

これにより、2022年3月期の年間配当金は、20円の普通配当に、2円の記念配当を加えて22円となる予定です。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長兼社長

太田 明夫

経営理念

「信・愛・和」

信は、「社会に信用・信頼される会社」

愛は、「社会に奉仕する会社」

和は、「社会に協力・協調する会社」を表します。

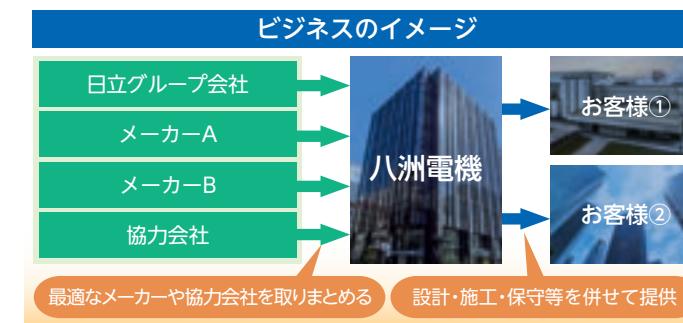
経営ビジョン

クオリティの高いサービスを通じ
お客様とともに価値を創造するベストプランナーとして
環境配慮型社会に貢献する

当社のビジネスのイメージと、エンジニアリング力を活かしたビジネススタイルについて紹介します。

当社はエンジニアリング会社として、お客様が工場や事務所等への設備の導入やリニューアルをする際、最適なシステムの構築を行い、設計・施工・保守等を併せて提供します。

最適なシステムをワンストップで提供し、環境・省エネ・高効率化等の多様なニーズにお応えします。



コア技術

5つのコア技術で、設計・施工・保守等を行い、お客様の多様なニーズにお応えします。更にコア技術を「技術ソリューション力」等で横断的に進化・融合し、お客様にとって最適なソリューションを提供します。

コア技術				
電機制御システム 最適化を実現するため設計から行う	環境システム ニーズに応じ様々な環境を作り上げる	交通システム 鉄道事業のニーズにお応えする	情報システム 様々な情報を取りまとめ、伝達を実現する	エネルギーシステム 再生可能エネルギーを活用する
技術ソリューション力		それぞれのコア技術を進化・融合し問題を解決する		
プロジェクトマネジメント力		案件ごとに取りまとめを行う		
総合エンジニアリング力		設計・調達・工事等を連携させ提供する		
アライアンス構築力		日立グループ会社をはじめとした、最適なパートナーと協業し提供する		

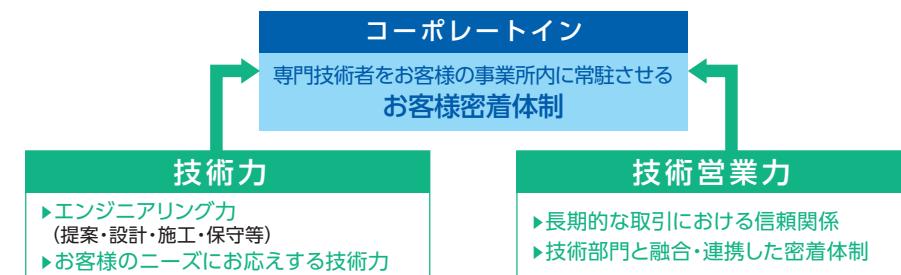
エンジニアリングフロー

製品を販売するだけでなく、プレエンジニアリングから、設計、調達、建設、運転、保守、アフターサービスまでを一貫して行い、当社の技術とともにサービスを提供します。



コーポレートイン

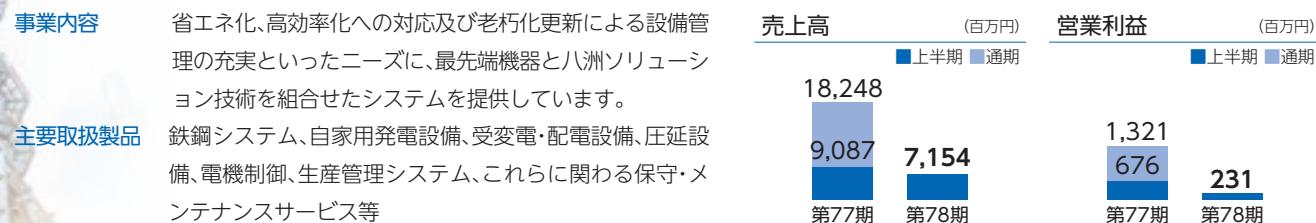
当社の専門技術者をお客様の事業所内に常駐させ、お客様の立場となって最適なソリューションを提供します。これにより、お客様のニーズや課題に対して迅速な対応を実現できます。



八洲電機グループは2つのセグメントでお客様の多様なニーズにお応えしております。

プラント事業

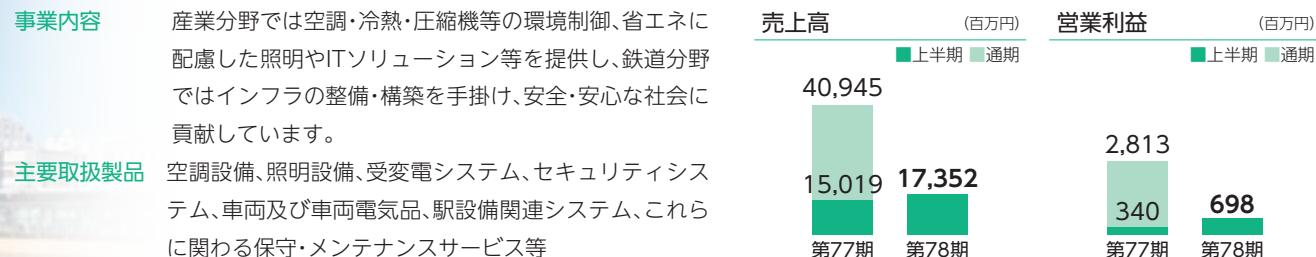
鉄鋼・石油・エネルギー等のプラント分野に最先端技術で貢献



- 鉄鋼・非鉄分野では、鉄鋼分野における事業再編に伴う設備休止等の影響を受け、老朽設備の更新や生産効率向上を目的とした大型投資案件の減少により、売上高は低調に推移しました。
- 石油・化学・ガス分野では、化学・ガス分野における設備の維持・管理を目的とした工事案件等が計画通り進捗しましたが、石油分野における新型コロナウイルス感染症による国内需要の回復遅れや老朽設備改修工事の減少などもあり、売上高は低調に推移しました。

産業・交通事業

化学・医薬品・紙パルプ・機械・電気機器・精密機器・鉄道等の幅広い業界に貢献



- 産業機器分野では、半導体不足や原材料高騰の影響はあるものの、設備機械関連セットメーカーの生産量は増加し、国内製造業の設備投資も回復基調が続いており、売上高は堅調に推移しました。
- 一般産業分野では、医療・化学・精密関連における顧客の成長投資に向けた設備増強を背景に、大型の工事案件が順調に進捗し、売上高は好調に推移しました。
- 空調設備分野では、情報通信分野向け特殊空調及び大口空調機納入案件が減少しましたが、理化学分野向け特殊空調工事及び新型コロナウイルス感染症対策用のクリーンエア製品が順調に進捗し、売上高は堅調に推移しました。
- 交通分野では、鉄道車両関連製品や受変電設備の更新が順調に進捗し、売上高は好調に推移しました。

八洲電機は創立75周年を迎えました。

当社は、2021年8月に創立75周年を迎えました。1946年の創立以来、経営理念「信・愛・和」の精神のもと、ステークホルダーの皆様との信頼関係を構築しながら、お客様に役立つ最適なソリューションを提供してまいりました。

これからも、ご支援いただいた全ての皆様に感謝し、全社員一致協力のもと、更なる成長・発展を目指してまいります。

10期間の経常利益・同利益率及び1株当たり配当金額の推移



八洲制御システム株式会社

「新本社工場」が本稼働を開始しました。

2021年6月1日にヤシマコントロールシステムズ(株)より社名変更いたしました。

設計から製缶塗装・組立配線・メンテナンスまでを一貫して手掛ける制御盤メーカーの八洲制御システム株式会社が「小河原工場」を「新本社工場」に移転集約し、2021年10月1日より本稼働を開始しました。

全ての工程を「新本社工場」に集約したことで、制御盤等の製作を一貫して行い、品質・生産効率・業務効率・安全性を向上させ、事業を拡大してまいります。



八洲プラント建設株式会社

「新本社ビル」を建設しました。

2021年7月1日に(株)三陽プラント建設より社名変更いたしました。

受変電設備や各種プラント工事の設計・施工を手がける八洲プラント建設株式会社が「新本社ビル」を建設しました。

旧本社ビルの老朽化に伴い、オフィス環境の整備を通じて更なる業績向上を目指し、新しい環境のもと、新たな働き方を創造して事業の拡大と生産性向上を図ってまいります。



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 2021年3月31日現在	当上半期 2021年9月30日現在
資産の部		
流動資産	41,674	32,459
固定資産	11,633	12,031
有形固定資産	8,182	8,757
無形固定資産	383	338
投資その他の資産	3,067	2,936
資産合計	53,308	44,491
負債の部		
流動負債	29,183	20,947
固定負債	2,155	1,898
負債合計	31,339	22,846
純資産の部		
株主資本	21,810	21,429
資本金	1,585	1,585
資本剰余金	1,050	1,051
利益剰余金	19,632	19,216
自己株式	△458	△424
その他の包括利益累計額	△60	8
非支配株主持分	219	207
純資産合計	21,969	21,644
負債純資産合計	53,308	44,491

連結損益計算書

(単位：百万円)

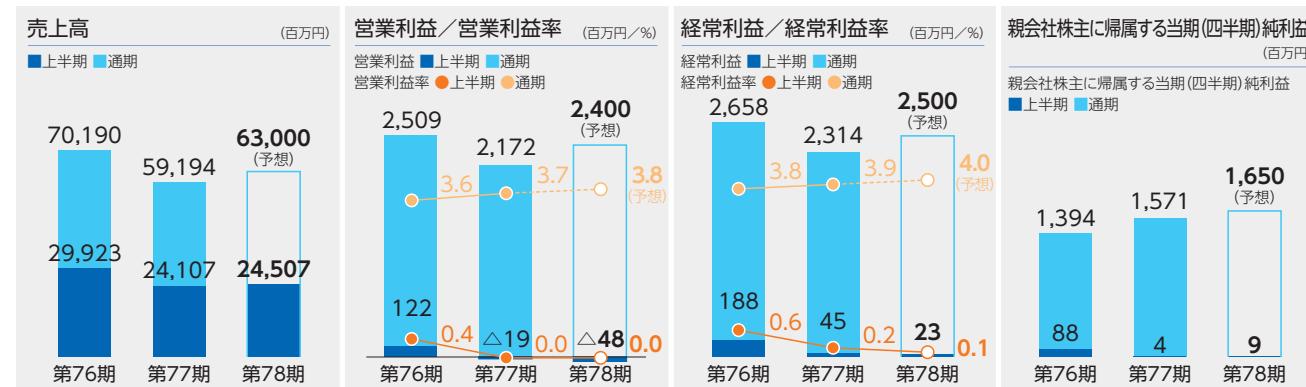
科目	前上半期 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日	当上半期 自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日
売上高	24,107	24,507
売上総利益	4,637	4,536
販売費及び一般管理費	4,656	4,584
営業損失(△)	△19	△48
営業外収益	67	73
営業外費用	3	2
経常利益	45	23
特別利益	69	97
特別損失	6	31
税金等調整前四半期純利益	108	88
法人税等合計	96	73
四半期純利益	11	15
非支配株主に帰属する 四半期純利益	7	6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4	9

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前上半期 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日	当上半期 自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	3,905	△233
投資活動による キャッシュ・フロー	635	△595
財務活動による キャッシュ・フロー	△173	△242
現金及び現金同等物の増減額	4,367	△1,070
現金及び現金同等物の期首残高	9,041	9,904
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,409	8,833

財務ハイライト



資産の状況



キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)



ポイント解説

- 1 流動資産** 前期末に比べ92億14百万円減少。
(**主な要因**) 現金及び預金10億15百万円減少、受取手形、売掛金及び契約資産83億56百万円減少。
- 2 流動負債** 前期末に比べ82億35百万円減少。
(**主な要因**) 支払手形及び買掛金73億74百万円減少。
- 3 営業活動によるキャッシュ・フロー** 2億33百万円のマイナス(前年同期は39億5百万円のプラス)。
(**主な要因**) マイナス要因として、仕入債務の減少額80億55百万円、未払金の減少額6億80百万円。
プラス要因として、売上債権の減少額86億17百万円。
- 4 投資活動によるキャッシュ・フロー** 5億95百万円のマイナス(前年同期は6億35百万円のプラス)。
(**主な要因**) マイナス要因として、有形固定資産の取得による支出7億88百万円。
プラス要因として、投資有価証券の売却及び償還による収入2億42百万円。

連結経営指標の推移

(単位：百万円)

	2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期	
	上半期	通期	上半期	通期	上半期	通期	上半期	通期(予想)
受注高	36,992	74,554	39,998	71,389	29,761	56,358	34,246	—
売上高	27,938	69,828	29,923	70,190	24,107	59,194	24,507	63,000
経常利益	54	2,523	188	2,658	45	2,314	23	2,500
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	180	1,836 (※1)	88	1,394 (※2)	4	1,571	9	1,650
純資産額	18,535	20,089	19,739	20,924	20,324	21,969	21,644	—
総資産額	46,388	58,783	45,031	57,045	52,496	53,308	44,491	—
有利子負債	1,156	889	749	738	733	1,123	1,311	—
1株当たり純資産額(円)	843.04	913.52	897.27	951.29	933.41	1,021.38	1,005.02	—
1株当たり当期(四半期) 純利益(円)	8.33	85.01	4.11	64.61	0.21	73.22	0.44	77.39
自己資本比率(%)	39.20	33.52	43.02	36.01	38.30	40.80	48.18	—
ROE(%)	—	9.65	—	6.93	—	7.43	—	—
ROA(%)	—	3.08	—	2.41	—	2.85	—	—
従業員数(人)	1,044	1,037	1,051	1,048	1,007	1,004	1,006	—

(※1) 2019年3月期の親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益は、土地の譲渡による特別利益を含んでおります。

(※2) 2020年3月期の親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益は、連結子会社の株式譲渡に伴う特別損失を含んでおります。

中期経営計画(2020～2024年度) 活動方針

当社グループは、2020年度から取組んでいる中期経営計画において、更なる「事業規模の拡大」と「収益力の向上」を実現するための成長戦略を策定し活動してまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が改善するまでには一定の期間を要すると見込まれます。

このような中、当社グループは中期経営計画の見直しを行い、計画を実現するための「基本戦略」に加え、集中して取組む「重点戦略」を新たに策定し、更なる成長戦略を推進してまいります。

ビジョン

高度情報化時代に対応し、社会に貢献する「エンジニアリング会社」として、付加価値の高い技術・サービスを提供し、

お客様とともに未来を創る。

基本戦略

- 1 八洲独自の「エンジニアリング会社」の推進を図る。
- 2 ビジネスパートナーの拡大及び新規商材を創出し事業規模の拡大を図る。
- 3 M&Aを実施しエンジニアリング力の強化及び事業規模の拡大安定を図る。
- 4 八洲電機グループ力強化によるビジネスチャンスの拡大を図る。
- 5 ワークスタイル変革により生産性の向上を図る。
- 6 コンプライアンス及びCSR活動を推進する。

重点戦略

- 1 顧客戦略:顧客の投資に対しエンジニアリングで貢献し「収益の拡大」を図る。
- 2 地域戦略:顧客の戦略投資エリアの攻略をし「事業規模の拡大」を図る。
- 3 グループ戦略:総合エンジニアリングの創出による「収益の拡大」を図る。
- 4 コストマネジメント戦略:エンジニアリングを中心としたコスト最適化による「収益の拡大」を図る。
- 5 ● 営業戦略:新たな販売・製品パートナー創出による「事業領域の拡大」と「収益の拡大」を図る。
● 技術戦略:コア技術を時代の変化に適応・成長させ「事業領域の拡大」と「収益の拡大」を図る。

目標値 2024年度(2025年3月期)

連結売上高 **700億円**、連結経常利益 **35億円**、経常利益率 **5.0%**



八洲電機の「健康経営」の取組み

当社は、社員と家族の健康保持・増進のため、「からだの健康」「職場の健康」「こころの健康」と大きく3つのジャンルに分け、生活習慣病対策やメンタルヘルス対策等の各種施策に取り組んでおります。

今年度は、社員の健康維持・増進・改善を目的とした、保健師による「個別健康相談制度」の導入や、「歯科検診」の実施、更に予防と早期発見の観点から、健康診断時の婦人科検診(乳がん・子宮頸がん)の対象範囲拡大にも取り組んでおります。

また、当社はがん検診受診率向上を目指す国家プロジェクト「がん対策推進企業アクション」の理念・活動に賛同し、2021年9月より推進パートナーとして参画しました。

今後も社員と家族の健康保持・増進に向け、様々な施策に取り組むとともに、「働き方改革」や「ダイバーシティ推進」と連携しながら「健康経営」を推進してまいります。



がん対策推進企業アクションとは・・・

企業の従業員や家族のがん検診受診率の50%以上への引き上げと、がんになっても働き続けられる社会の構築を目指す国家プロジェクトです(厚生労働省委託事業)。

八洲電機の「ダイバーシティ推進」の取組み

当社のダイバーシティ推進は、社員の数だけ存在する多様性が尊重される職場で、一人ひとりが能力を最大限に発揮し、生産性の向上に繋げていくことを目的としております。

また、当社は特に女性活躍推進に注力しており、昨年度より「ダイバーシティ推進プロジェクト」を発足させ、女性活躍推進に関わる知識のインプットや意見交換等を行っております。今年度は、2021年4月に刷新した「女性活躍推進行動計画」の目標達成に向け、ヒアリングや分析を行い、女性活躍フィールドの拡大を更に進めてまいります。

今後も、多様で柔軟な働き方を選択でき、いつでもどこでも仕事ができる制度・しくみ、環境を整え、ダイバーシティを更に推進してまいります。



「ダイバーシティ推進プロジェクト」の様子

ホームページのご案内

当社ホームページは、「[会社案内](#)」「[事業紹介](#)」「[株主・投資家の皆さまへ](#)」「[環境への取組み](#)」等の各ページにおいて、当社に関する様々な情報を発信しております。



八洲電機

検索

スマートフォンでもご覧いただけます。



<https://www.yashimadenki.co.jp/>

会社の概況

商号 八洲電機株式会社
Yashima Denki Co., Ltd.
創立 1946年8月8日
資本金 1,585百万円
従業員数 連結1,006名(単体516名)
本社 〒105-8686
東京都港区新橋三丁目1番1号

主要拠点

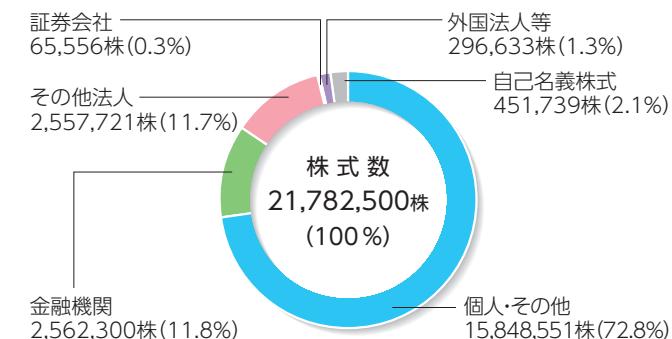
本社 〒105-8686 東京都港区新橋三丁目1番1号
エンジニアリングセンター 〒105-0014 東京都港区芝三丁目14番4号
関西支店 〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋三丁目3番13号
ニッセイ淀屋橋イースト4F
中国支店 〒730-0051 広島県広島市中区大手町三丁目8番1号
大手町中央ビル8F
岡山支店 〒710-0824 岡山県倉敷市白楽町249番地5
倉敷商工会館5F
各事業所等 東北営業所、茨城営業所、千葉営業所、京浜営業所、堺営業所、倉敷営業所、水島事務所、福山JFE構内事務所、福山営業所、呉営業所、東予事務所、周南営業所、大分営業所、福岡営業所

- 八洲ファシリティサービス株式会社
- 八洲産機システム株式会社
- 八洲制御システム株式会社
- 八洲環境エンジニアリング株式会社
- 八洲情報システム株式会社
- 株式会社中国パワーシステム
- 株式会社西日本パワーシステム
- 八洲プラント建設株式会社
- 八洲ビジネスサポート株式会社

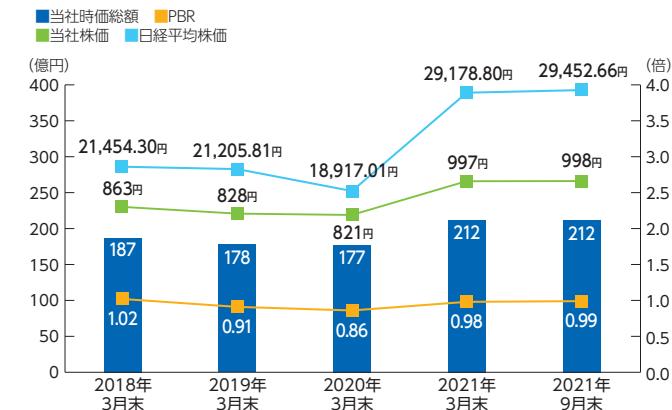
株式の状況

発行可能株式総数 50,000,000 株
発行済株式総数 21,782,500 株
株主数 27,970 名

所有者別分布状況



株式関連指標

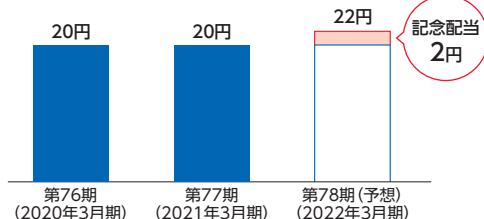


株主還元(配当・優待) (2021年9月30日 現在)

Shareholder Return

株主還元

株主の皆様からのご支援に感謝し、投資魅力を高め、株式を長期間保有していただくため、配当と株主優待制度を実施しております。



配当について

- 権利確定日: 毎年3月末
- 配当金額: 1株当たり22円(2022年3月期予想)

創立75周年記念配当について

本年、当社は創立75周年を迎えました。これもひとえに、株主の皆様をはじめ、これまでお力添えいただいた関係者の皆様からの温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

つきましては、これまでご支援いただきました株主の皆様にご感謝の意を表すとともに、創立75周年を記念いたしまして、2022年3月期の期末配当において、1株当たり20円の普通配当に加え、2円の記念配当の実施を予定させていただくことといたしました。

株主優待制度について

- 対象となる株主様: 毎年9月末日現在の当社株主名簿に記載又は記録された1単元(100株)以上保有されている株主様
- 優待内容:
 - 保有株式数と継続保有期間によって「全国共通お食事券/東日本復興支援ジェフグルメカード」を贈呈します。
 - 継続保有期間の起算日を2019年9月末(基準日)とします。
 - 継続保有期間の9月末日及び3月末日の株主名簿に、同一株主番号で、各保有株式数区分以上の株式を保有していることが連続して記載又は記録されていることを条件とします。
- 贈呈時期: 毎年11月下旬頃の発送を予定しております。

保有株式数区分	「全国共通お食事券/東日本復興支援ジェフグルメカード」		
	継続保有期間*		
	1年未満	1年以上3年未満	3年以上 (2022年9月末日以降の適用)
1,000株以上	5,000円分	6,000円分	7,000円分
200株以上 1,000株未満	2,000円分	2,500円分	3,000円分
100株以上 200株未満	500円分	1,000円分	1,000円分

* 継続保有期間1年以上とは、同一株主番号で9月末日及び3月末日の株主名簿に各保有株式数区分以上の株式を保有していることが連続して3回以上記載又は記録されていることとし、継続保有期間3年以上とは、連続して7回以上記載又は記録されていることとします。

株主メニュー

- 上場取引所 東京証券取引所市場第一部
- 証券コード 3153
- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 3月31日及びあらかじめ公告する一定の日
- 公告方法 電子公告により行います。
公告掲載URL: <https://www.yashimadenki.co.jp/>
※ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 1単元の株式数 100株
- 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。

八洲電機株式会社

<https://www.yashimadenki.co.jp/>

〒105-8686 東京都港区新橋三丁目1番1号
TEL.03-3507-3711

